

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3 年	2	選択
担当教員			
岩下 千恵子			
B（経営学科）	S（専門科目）	TR（観光）	302（上級科目）

授業のねらい（概要）	地域における観光産業に関する基礎的な知識の修得のもと、観光産業の果たす役割と今後における観光産業のあり方についての理解を通して、観光産業の発展を図る創造的な能力と態度を育てることを目的とする。観光産業におけるホスピタリティの重要性や運輸業・宿泊業・飲食業などのビジネス群の特質について学修するとともに、観光産業が21世紀における我が国の基幹産業として発展することの重要性について考察する。		
授業計画	第1回	【遠隔】オリエンテーション 観光産業・観光事業とは 講義のねらい、進め方、成績評価方法の説明を行う。また、教科書第1章を参照し、観光産業と観光事業の定義を説明し、観光産業の産業分類での位置づけ、規模及び特徴を整理する。 予習（時間）：教科書第1章を読む。（120分） 復習（時間）：教科書第1章、授業内容を振り返る。（120分）	
	第2回	【遠隔】観光産業のマネジメント 観光産業のマネジメントの特性を説明する。 予習（時間）：マネジメントの意味を理解しておく。（120分） 復習（時間）：授業内容を振り返りをしてしておく。（120分）	
	第3回	【遠隔】宿泊産業① 観光産業の基幹産業であり、近年では観光対象ともなっている宿泊産業の市場の概要及び業界構造について説明する。 予習（時間）：教科書第2章（p17～50）を読む。（120分） 復習（時間）：教科書第2章（p29-49）を参照しながら、授業内容を振り返る。（120分）	
	第4回	【遠隔】宿泊産業② 観光地の宿泊産業の現状と将来について解説する。 予習（時間）：教科書第2章（p50-57）を読む。（120分） 復習（時間）：教科書第2章（p50-57）を参照しながら、授業内容を振り返る。（120分）	
	第5回	交通運輸業① 鉄道事業 交通市場の概要と変化、観光との関わりについて解説し、鉄道事業について説明する。 予習（時間）：教科書第3章（p63-94）を読む。（120分） 復習（時間）：教科書第3章（p80-94）を参照しながら、授業内容を振り返る。（120分）	
	第6回	交通運輸業② 航空産業 航空産業の現在の業界構造と経営について説明する。 予習（時間）：教科書第3章（p94-108）を読む。（120分） 復習（時間）：教科書第3章（p98-108）を参照しながら、授業内容を振り返る。（120分）	
	第7回	【課題】交通運輸業③ バス、レンタカー、クルーズ事業 バス事業とレンタカー事業、宿泊を伴う船旅であるクルーズ事業について概観する。 予習（時間）：教科書第3章（p108-122）を読む。（120分） 復習（時間）：教科書第3章（p108-122）を参照しながら、授業内容を振り返る。（120分）	
	第8回	旅行業① 旅行業の現在の市場と産業構造及び業務内容について説明する。 予習（時間）：教科書第4章（p127-144）を読む。（120分） 復習（時間）：教科書第4章（p134-144）を参照しながら、授業内容を振り返る。（120分）	
	第9回	【課題】旅行業② 旅行業の現在の課題について考える。 予習（時間）：教科書第4章（p144-160）を読む。（120分） 復習（時間）：教科書第4章（p144-160）を参照しながら、授業内容を振り返る。（120分）	
	第10回	その他の観光関連産業 土産品業、スキー場、ガイド・インストラクター事業 観光の基幹産業ではないが、観光目的先にある事業である土産品業、スキー場、ガイドについての事業を取り上げて、概観する。 予習（時間）：教科書第5章（p175-189, p204-218）を読む。（120分） 復習（時間）：教科書第5章（p175-189, p204-218）を参照しながら、授業内容を振り返る。（120分）	
	第11回	【課題】テーマパーク・観光施設事業① テーマパーク 観光行動の目的地となる観光関連産業としてのテーマパークの業界動向、事業特性、及び今後の方向性について説明する。 予習（時間）：教科書第5章（p189-204）を読む。（120分） 復習（時間）：教科書第5章（p189-204）を参照しながら、授業内容を振り返る。（120分）	
	第12回	テーマパーク・観光施設事業② 水族館・美術館・博物館・動物園・日帰り温浴施設 観光施設事業である動・植物園、水族館、博物館・美術館（ミュージアム）、及び日帰り温浴施設についての動向を概観する。 予習（時間）：教科書第5章の該当箇所（p193-p203）を読む。（120分） 復習（時間）：教科書第5章の該当箇所（p193-p203）を参照しながら、授業内容を振り返る。（120分）	
	第13回	他産業と観光① 農林漁業・製造業と観光 観光活動における重要な位置を占める農林水産業や産業観光について説明する。 予習（時間）：教科書第6章（p221-243）を読む。（120分） 復習（時間）：教科書第6章（p221-243）を参照しながら、授業内容を振り返る。（120分）	
	第14回	他産業と観光② 飲食と観光 観光消費の大きな部分を占める飲食を観光的な意味合い（観光との関係）から説明する。	

	第15回 予習（時間）：教科書第6章（p243-258）を読む。（120分） 復習（時間）：教科書第6章（p243-258）を参照しながら、授業内容を振り返る。（120分） まとめ これまでの授業内容のポイントをまとめる。 予習（時間）：教科書全般を速読する。（120分） 復習（時間）：まとめの内容を振り返る。（120分）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP（商学部）に記載のある以下の項目を身につける科目となっている。 ・専門的分野での学びを、実務や社会で応用できる能力 DP（経営学科）に記載のある以下の項目を身につける科目となっている。 ・経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）を多面的に理解し、活用できる能力 【身に付くスキル】 地域力・課題解決力
到達目標	①観光産業の構成とビジネスの特徴を理解した上で、それらの経営特性及び動向を説明できる。 ②現代の観光産業の現状と課題を説明できる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	小レポートは採点しコメントを記して、返却する。
履修上の注意	観光学（科目）を履修済み、もしくは、それと同等の知識があることが望ましい。
成績評価の方法・基準	①課題小レポート 60% ②定期試験 40%
教科書	書名：観光学全集第6巻 観光産業論 著者名：林清編著 出版社：原書房、2015年発行 価格：2800円（税別）
参考書・教材	
備考	講義科目／実務家教員による授業 2020年度は、第7, 9, 11回を課題研究として学修する。 第7回 当初シラバスの講義用パワーポイントの資料と教科書の該当箇所を熟読し、「日本においてクルーズ船ビジネスの需要が伸びる理由と日本がクルーズ船ビジネスについて積極的に取り組んでいる理由を説明する」レポートを作成する。（学修時間330分） 第9回 当初シラバスの講義用パワーポイントの資料と教科書の該当箇所を熟読し、「クラブツーリズムのビジネスの特性と成功している理由について説明する」レポートを作成する。（学修時間330分） 第11回 当初シラバスの講義用パワーポイントの資料と教科書の該当箇所を熟読し、「テーマパークビジネスを展開する上で、重要となる事柄を2点あげ、テーマパークビジネスの特性とは何かを説明する」レポートを作成する。（学修時間330分） 「成績評価の方法・基準」欄の「定期試験」は状況により「最終レポート」で代替することがある。その場合には速やかにmelly及び授業で実施方法の詳細と評価基準を告知する。
教員との連絡方法	メール（アドレスは授業内に周知する）